

# 伊平屋村 野甫島に棲む動物たち PartⅡ ～ヤシガニの研究を通じた島の生き物の調査

伊平屋村立野甫小学校  
5年 伊差川実怜 2年 美織・美琴

## 1. 目的・動機

私たちは昨年(2022年)の4月から、お父さんの仕事の都合で伊平屋島のさらに離島の野甫島に移り住むことになり2年目になりました。その島は、それまで住んでいた名護市屋部区とは比べ物にならないくらい自然が豊かで、珍しい不思議な生き物たちがいっぱいいます。私たちは伊平屋島で生活する間に島に棲む不思議な動物たちをすべて調べてみたいと思います。とりあえず、2年目の今年はヤシガニの研究を行いながら、どのような生き物が伊平屋島(特に野甫島)に棲んでいるのかを調べ、その生態と特徴をまとめます。その中でも特に注目しているのが島の甲殻類の王者「ヤシガニ」です。沖縄本島にいる時は一度も見つけることはできませんでした。私は、その不思議な島「伊平屋島」の自然、特に野甫島についてまとめます。

### (1) 調査研究場所について

### 野甫島と伊平屋島



### (2) 昨年の研究から新たに上がった研究課題

- ① 定点コースを定期的に回り、ヤシガニの活動を観察する(昨年からの継続)。
- ② ヤシガニの多く確認できた周辺の植生や地形を確認する(昨年からの継続)。
- ③ ヤシガニを捕獲したら雌雄を確認、その甲羅の部分の大きさや模様を記録、個体数の調査。
- ④ 巣穴を探索し、4月～11月の行動観察から繁殖活動を撮影し、産卵行動をあきらかにする。
- ⑤ 海岸から陸上に上がってきたヤシガニの幼生や小さいヤシガニを見つけ、生育環境を確認する。
- ⑥ ヤシガニの飼育に挑戦し、脱皮などの観察を行う(環境が整えられたら)。

## 2. 調査の方法・内容 ※ヤシガニ(オカヤドカリ科 別名:オイハギガニ 学名 *Mirgus Lanne*)

### (1) 野甫島の周回道路を散策し、そこでみられる珍しい動物を調査する。

・伊平屋島まで広げ、A～Hの定点観察による生物の棲み分け(分布)を観察・記録する。

### (2) 年間を通して、月(季節)毎のヤシガニの活動を記録していく。

### (3) ヤシガニの活動と他の動植物の生態を比較し、1年間の生態を観察する。

写真①ノギスを使った確認



写真②オカガニの産卵(夏の大潮)



写真③ハブの通り道は小動物が多い



3. 調査

(1) 以下の地図の A～H の地点で多くの動物が確認できた。※a は探索路から外れた海岸。

・野甫島の A～I の観察ポイント ※～原は地名昔からの地名

| 観察地点 | 地域の呼び名 | 地名   |
|------|--------|------|
| A    | ウンナ原   | ウンナ原 |
| B    | チジイシ   |      |
| C    | ウフマーガー |      |
| D    | ウサファ   |      |
| E    | ナートゥー  |      |
| F    | オータキ   |      |
| G    | マガヤ原   | マガヤ原 |
| H    | ヒルフガー  | マガヤ原 |
| I    | ジューマー  |      |



(1) 伊平屋島のヤシガニ (J～P) の調査ポイント。

(2) J～P の各観察ポイントの動物の生態の特色

J : クバ山 (岩山 : 砂岩質) の麓に**アダン**林があり。

K : 海岸沿いに**岩場**の穴が複数あり、周辺に**アダン**林があり。(ヤシガニの巣穴と呼んでいる)

L : 海岸線に岩場が乱立。道路沿いに**アダン**林有り。  
(ヤシガニの出没が多いと情報)

M : 9 月に歩行しているヤシガニを地域の方が、捕獲報告あり。(海岸に**アダン**林)

N : 海岸沿いに**アダン**の林が見られる。ハブが出没多い。

O : ハブの出没多い、岩場有り、魚も豊富なポイント、海岸線に**アダン**なし。

P : ハブの出没多い、岩場有り、春から夏の大潮 (満月) に大量のオカガニの産卵が見られる。

(3) ヤシガニの定点調査について (A～P の地点で行った調査結果) 令和元年度

※野甫島の調査を行い、地域の情報を基に、新たな調査ポイントとして J～P 地点での調査を行った。

| 調査日<br>(月日)   | ヤシガニ<br>の頭数 | 調査<br>時刻 | 個体のサイズ<br>: 胸長のサイズcm♂♀    | 場所<br>A～I | その他<br>(※A～I は地点) |
|---------------|-------------|----------|---------------------------|-----------|-------------------|
| 04 月 21 (日)   | 1 頭         | 21:21～   | (中 7.5 c m♂)              | D         |                   |
| 04 月 29 日 (月) | 1 頭         | 08:02    | (中 10.5cm♂)               | C         |                   |
| 04 月 30 日 (火) | 1 頭         | 夜        | (大 10.5cm♂)               | L         |                   |
| 05 月 09 日 (木) | なし          | 20:42～   |                           | P         | オカガニの産卵           |
| 05 月 20 日 (月) | 1 頭         | 20:39～   | (中 6.7cm♂)                | C         |                   |
| 06 月 15 日 (土) | なし          | 22:11    |                           | L         | オカガニの産卵           |
| 06 月 16 日 (日) | なし          | 21:14～   |                           | L         | オカガニの産卵           |
| 06 月 28 日 (金) | 1 頭         | 18:34～   | (特大 13.2 c m♂)            | C         |                   |
| 07 月 21 日 (日) | なし          | 22:39    |                           |           | 田名区               |
| 07 月 22 日 (月) | 2 頭         | 22:15    | (特大 15.2 c m♂) (中 8.6cm♂) | J・K       |                   |
| 07 月 27 日 (土) | 2 頭         | 20:44    | (中 6.8cm♀)・(大 12.8cm♂)    | B・C       |                   |
| 07 月 28 日 (日) | 1 頭         | 20:20    | (中 9.5cm♀)                | A～H 中間    |                   |

|                                            |    |       |                                      |        |               |
|--------------------------------------------|----|-------|--------------------------------------|--------|---------------|
| 07月30日(火)                                  | 3頭 | 21:41 | (中 9.6cm♂) (中 10.5cm♀)<br>(中 7.3cm♂) | C・D・G  | アカマタ          |
| 08月11日(日)                                  | なし | 21:55 |                                      | 伊平屋島   | ヒラタ・ノコギリ      |
| 08月16日(金)                                  | 3頭 | 21:33 | (中 8.5cm♂) (中大 10.4cm♂)              | C・C・D  | ミウズラ※C、アカマタ※D |
| 08月19日(月)                                  | 2頭 | 20:54 | (中 8.7cm♂)・(小 7.2♂)                  | C・D    |               |
| 8月は、幼生を探して海岸線を昼間に探索するも、1頭も発見できず。           |    |       |                                      |        |               |
| 09月03日(火)                                  | 1頭 | 21:06 | (中 8.8cm♂)                           | C      |               |
| 09月09日(月)                                  | 1頭 | 22:59 | (中大 11.4cm♂)                         | C      |               |
| 09月14日(土)                                  | 2頭 | 20:56 | (小 5.6cm♂) (中 10.5♂)                 | C・D    |               |
| 09月15日(日)                                  | 0頭 | 11:00 | 確認できず                                | C 海岸   | ヤシガニ幼生探索      |
| 09月24日(火)                                  | 0頭 |       | 確認できず                                | 野甫島    |               |
| 09月27日(水)                                  | 0頭 | 20:50 | 確認できず                                | 伊平屋・林道 | 宿をもつ幼生を探索     |
| 09月29日(日)                                  | 3頭 | 20:58 | (中 9.0cm♂) (中 8.8cm♂)<br>(中大 11.3cm) | C・C・E  | 轢死            |
| 10月01日(火)                                  | 2頭 | 21:11 | (小)・(中大 11.4♀) 轢死                    | C・F    | ※雌は抱卵せず       |
| 10月02日(水)                                  | 1頭 | 21:38 | (中小 8.0♂)                            | C      |               |
| 10月07日(月)                                  | 1頭 | 20:33 | (小 6.1cm♂)                           | C      |               |
| 10月16日(水)                                  | 1頭 | 22:21 | (中大 11.5cm♂)                         | C      |               |
| 11月05日(火)                                  | 0頭 |       | 確認できず                                |        |               |
| 地域からの目撃情報が11月末にあるも、以降は未確認。おそらく、潜ったものと思われる。 |    |       |                                      |        |               |

※ヤシガニの大きさ分類：甲羅（小7cm・中小10cm・中13cm・大15cm・特大18cm）

(4) 雄雌にみるヤシガニの特徴（さまざまな角度でヤシガニの雄と雌の違いを確認した）

①雄♂



○雄の特徴・・・卵を抱える部分を持たない。

②雌♀（轢死）



○雌の特徴・・・3本の卵を抱える器官を持っている。

(5) ヤシガニの幼生と産卵場所と思われる場所の探索 (C 地点の崖下の海岸) 9 月 大潮



○干潮時に幼生を探したが、確認できなかった。

○確認頻度の高い C 地点の海岸線は、産卵時期の大潮の満潮時の観察には危険を伴う。

(6) ヤシガニのロード・キル (Load Kill) と繁殖地に増える、野生化した猫

・ 4.30.昼 L 地点 伊平屋島



・ 9.29.21:28 G 地点 野甫島



深夜、林野で獲物を探す野猫



#### 4. 考 察

(1) 定点観察データの結果からの考察

①30 頭中の雌の数はわずか4頭のみであった (13.3%)。

②9 月に、轢死した雌は背中のおおきさ (胸長) が、11.4 c mだったが、抱卵は確認できなかった

※産卵は9月～11月の大潮の満潮時と思われる。抱卵した雌の確認はゼロ

③定点観察で見るヤシガニの歩行頻度は、前年度とほぼ同様であった。

ア. 発見頻度は C 地点が最も多かった。(海まで岩場が連なりせり出している)

イ. 8 月に発見の頻度のピークを迎えた (エサも豊富)。

ウ. 9 月には、さまざまな場所で個体を確認できた (繁殖期?)。

④月ごとの見る頻度も前年度とほぼ同様であった (野甫島)。

⑤個体密度でみると、伊平屋島と野甫島では小さな野甫島が群を抜いて多かった。

⑥伊平屋島では、観察回数 (9 回) からの個体確認は3回 (3 頭) にとどまった (30%)。

⑦10 月に確認した個体は、動きが極端に緩慢になった。

⑧10 月 12 日の満月以降は個体の確認が極端に減少した。※サシバ等の渡り鳥を確認。

(2) ロード・キル (Load Kill) や外来種 (野生化した猫) による生態系への影響の考察

①民泊等による観光客が増加し、夜の交通量が増え、夜行性の動物の轢死が増加した。

②野生化した猫が十数頭いるとみられ、ミフウズラ等の歩行生の動物の減少が懸念される。